

## 第54回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和4年3月3日（木）17：00～18：30

2. 会場：庁議室

3. 委員（敬称略 五十音順）

池田 一義 一般社団法人埼玉県商工会議所連合会 会長（WEB参加）

岡部 信彦 川崎市健康安全研究所 所長（WEB参加）

金井 忠男 埼玉県医師会 会長

川名 明彦 防衛医科大学校 教授（WEB参加）

小谷野 和博 埼玉県中小企業団体中央会 会長（WEB参加）

近藤 嘉 日本労働組合総連合会埼玉県連合会 会長（WEB参加）

坂木 晴世 国際医療福祉大学大学院 准教授（WEB参加）

讃井 将満 自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長（WEB参加）

竹田 晋浩 かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長（WEB参加）

松田 久美子 埼玉県看護協会 会長（WEB参加）

光武 耕太郎 埼玉医科大学国際医療センター 教授（WEB参加）

三村 喜宏 埼玉県商工会連合会 会長（WEB参加）

4. 県側参加者

大野 元裕 知事

高田 直芳 教育長（WEB参加）

安藤 宏 危機管理防災部長（WEB参加）

山崎 達也 福祉部長（WEB参加）

関本 建二 保健医療部長

星 永進 保健医療部参事

本多 麻夫 保健医療部 参事

目良 聡 産業労働部副部長（WEB参加）

岸本 剛 衛生研究所 副所長

## 5. 主な意見

### ア 現状の分析・評価について

- 小児が非常に多いものの、重症化や入院するのは高齢者が多いところなど、埼玉県では全国の様相がそのまま現れている。（川名委員）
- トータルの患者数から見ると死亡率は高くない。入院の必要がある方は高齢者が多く、デルタ株と似たような印象になってきている。（光武委員）

### イ 埼玉県における「まん延防止等重点措置」等に基づく要請について

- 他県ではまん延防止等重点措置を解除した途端に患者数が増加に転じているということもあり、解除には慎重になるべきである。ただし、流行の質が変わってきており、飲食店にフォーカスするのではなく、学校や保育所にフォーカスした対策を取ることは的を射ている。（川名委員）
- 埼玉県における「まん延防止等重点措置」等に基づく要請について異議なし。（委員一同）

#### 【県の対応】

- 県内の感染状況及び委員の意見を踏まえ、まん延防止等重点措置等について決定した。3月4日開催第79回新型コロナウイルス対策本部会議において決定。）

### ウ 保育所や学校における対応について

- 子どもの感染が拡大していることで安易に教育の機会を奪うのではなく、感染対策にきめ細かいアドバイスをした上で感染コントロールをしながら教育活動を継続していくという方針に賛成する。（川名委員）
- 保育所や学校における対応について異議なし。（委員一同）

### エ 新型コロナウイルスワクチン接種について

- 接種の遅れている高齢者施設へ出前等により接種を行う仕組みができると良い。（岡部委員、金井委員、坂木委員）
- 重症者のほとんどはワクチンを1度も打っていなかったり、2回打っていても相当な肥満を持っていたりなど、明らかな傾向が分かってきた。高齢者ではないような方々でもワクチン接種は非常に重要であるので、高齢者と併せてワクチン接種の広報を御検討いただきたい。（竹田委員）
- 3回目接種率が全く上がらないと報道されがちであるが、その分母には接種券が送付されていないなど、まだ接種対象者ではない方も含まれているため、接種対象者の中でどの程度打っているのかを整理して広報していただくといいのではないか。（坂木委員）